



モニター通信

vol.23



「モニター」とは、「環境保全・ごみ減量推進モニター」といい、ごみ減量に関する研究・活動をするために市民の皆様から募集した方々です。(ごみ減量化グループ・平成27年3月1日発行)

ご家庭から出された「プラスチック製容器包装」は、ごみ収集車で回収した後、直接リサイクル工場へ運ばれます。

リサイクル工場
(2つ目)

リサイクル工場
(1つ目)

ごみ集積場所



プラスチック製 容器包装の リサイクルを 知ろう!!

～プラスチック製容器包装は
このように処理されます～

リサイクル工場で、異物を取り除いた後、機械で箱のように固められ、次の工場へ運ばれます。



固めたものを「ペレット」といいます。

さらに、2つ目の工場では素材ごとに選別され、最適な処理方法で新しい製品(原料)に生まれ変わります。



プラスチック製容器包装は
さっと水洗いして出しましょう。

ペレットが
できるまで

例えば、選別後のポリエチレン(PE)やポリプロピレン(PP)は、様々な工程をへて、「ペレット」と呼ばれるプラスチック製品の原料になります。



一宮市から出た「プラスチック製容器包装」です。



異物を取り除き洗浄したあと、比重分離と乾燥を行います。



高温で溶かし、出来上がった「ペレット」。ペレットは植木鉢等に生まれ変わります。

お問い合わせ先：一宮市環境部清掃対策課 TEL 0586-45-7004

裏面もご覧ください

市内の店舗で売れ残った食品を堆肥化している工場があります。

～生ごみを堆肥の主原料にし、自然の中に返す取り組み～

考えよう
資源の循環



成分調整

生ごみ（野菜くずや魚のあら）に副資材（おがくず・もみがら・戻し堆肥等）を合わせ、微生物の発酵・分解に最適な環境バランスを整えます。



【写真左：野菜くず】
【写真右：魚のあら】

攪拌 (かくはん)

発酵 (はっこう)

空気と水の力で微生物の分解を促進させます。

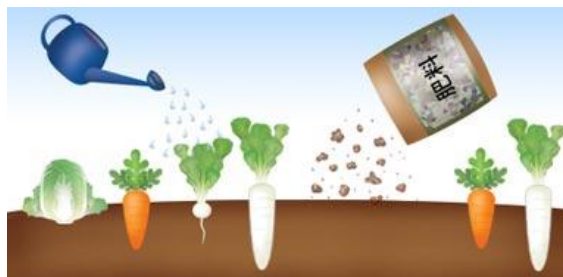
切り返し

堆肥をかき混ぜます。かき混ぜることで内側に酸素を入れて発酵を促進させます。

熟成 (じゅくせい)

90日間かけて完熟堆肥が完成します。

堆肥の完成



「4R」を心がけ ごみを減らしましょう!!

1. リフューズ (Refuse)

過剰な包装やレジ袋は断りましょう。



3. リユース (Reuse)

修理して使えるものは捨てずに使いましょう。

不要になったものは必要としている人にゆずりましょう。



2. リデュース (Reduce)

使い捨て商品は控えましょう。

詰め替え商品を使用しましょう。



4. リサイクル (Recycle)

分別を徹底し、資源の有効利用を図りましょう。リサイクル商品を積極的に使用しましょう。

